

ノムラの教え

弱者の戦略99の名言

親孝行は大成の絶対条件である

巨人軍を九連覇に導いた川上哲治さんが解説者だったとき、淡口憲治という左バッターについて、こう語ったことがあった。

「この選手は親孝行だから、必ずいい選手になりますよ」

多くの人が失笑した。川上さんの時代錯誤ぶりを揶揄した。けれども私は、「もっともだ」と感じ入った。「さすがは川上さんだ」と。

親孝行とはすなわち、感謝の心である。親に感謝し、恩返しをしたいと思えば、選手として大成し、大金を稼ぐことができるようになるしかない。強くそう思えば、人より努力するし、どうすれば打てるようになるか徹底的に考え、創意工夫もするだろう。成功する確率が高くなるのは道理なのだ。

私自身もそうだった。私がプロ野球選手を志したのは、貧乏のなか、女手ひとつで私を育ててくれた母親を楽にしたいと思ったからだ。「親孝行をしたい」という気持ちで、まさしく私のモチベーションになったのだ。

そもそも親がなければ自分もない。自分を生んでくれた親に孝行したいという気持ちのない者が、どうして満足な仕事ができようか。大成した選手は例外なく親孝行だ。これは、絶対に間違いない真理である。

文・野村克也 text by Katsuya Nomura

Profile

1935年 京都府生まれ。
54年 京都府立峰山高校卒業。南海ホークス(現・福岡ソフトバンク)ヘテスト生で入団。
4年目に本塁打王。65年 戦後初の三冠王(史上2人目)など、MVP5度、首位打者1度、本塁打王9度、打点王7度。ベストナイン19回、ゴールデングラブ賞1回。
70年 監督(捕手兼任)に就任。73年 パリーグ優勝。のちにロッテオリオンズ、西武ライオンズでプレー。
80年に45歳で現役引退。通算成績2901安打、657本塁打、1988打点、打率.277。
89年 野球殿堂入り。
90年 ヤクルトスワローズ監督に就任、4度優勝(日本一3度)。99年から3年間、阪神タイガース監督。
2002年から社会人野球・シダックスのゼネラル・マネージャー兼監督。
03年 都市対抗野球大会で準優勝。06年度 東北楽天ゴールデンイーグルス監督就任。
09年度 退任。24年間の監督生活で1565勝1563敗。「生涯一捕手」が座右の銘。

